



共に歩んだ50年を振り返る 第41回金婚ご夫妻慶祝の集い 11/16

町女性ボランティアクラブ（廣谷スマ子会長）主催の第41回金婚ご夫妻慶祝の集いが社会福祉センターで開催され、昭和43年に結婚した10組のうち7組の夫妻が出席し、共に歩んだ50年を振り返りながら楽しい一時を過ごしました。

アトラクションは、同クラブ会員による祝舞で幕開けし、金婚ご夫妻の中から3人がカラオケで自慢の歌声を披露しました。

また、白糠町童謡唱歌をうたう会や駒踊り音頭保存会の皆さんが祝賀会に花を添えました。

日本文化“茶道”の奥深さを学ぶ 白糠小家庭科クラブで茶道体験 11/14

白糠小学校の家庭科クラブで茶道体験が行われ、同クラブに所属する小学4年生から6年生の24人が参加しました。

講師を務めた学びの支援ボランティアどさんこの新井田芳子さんは「茶道はとても奥深いものです。日本の素晴らしい文化を楽しんでください」と話し、茶道の基本的な作法を指導しました。

初めて体験した4年生の児童は「お茶はちょっと苦かったけどおいしかった。礼儀作法も学ぶことができた」と話していました。



珍プレー好プレーの続出に沸く 第21回白糠ゲートカーリング大会 12/2

白糠町スポーツ推進委員会（坂本勝雄会長）主催の第21回ゲートカーリング大会が総合体育館で開催され12チームが参加しました。

大会は小学生の部4チームと中学生以上が参加する一般の部8チームの2部門に分かれて行われ、狙いとは全く違う方向にボールが転がってしまう珍プレーや逆転の一打を決める好プレーが続出したほか、チーム全員が5点を獲得するパーフェクトゲームを達成したチームが出るなど、参加者は笑顔でプレーを楽しみ大いに盛り上がりました。

ふるさと教育の成果を発表 明日の青少年を考える集い 11/25

町教育委員会主催の明日の青少年を考える集いが社会福祉センターで開催され、約180人の町民が来場しました。

ふるさと教育報告会では、町内の各小中学校から6グループが登壇し、白糠の特色や今後の課題について、子どもならではの目線で調べ上げた成果を堂々と発表しました。

来場者は「どのグループも素晴らしい発表で、大人も子どもから学ぶことがたくさんあると感じた」と話していました。

